



認知症ケア医療介護連携体制の構築事業 H28年度実績報告

三重大学医学部附属病院 認知症センター

◇目 的

三重県もの忘れネットワークにおける多職種間の連携・協働を進めるために、「認知症ケアの医療介護連携体制構築事業（平成28年度）」の中で、各地域で病診連携、医福連携を展開していくための基盤整備を行うことを目的とし、同時に「みえる手帳」の普及啓発活動を進めました。

◇対象者

三重県内のモデル地区在住で、認知症の疑いのある方

◇方 法

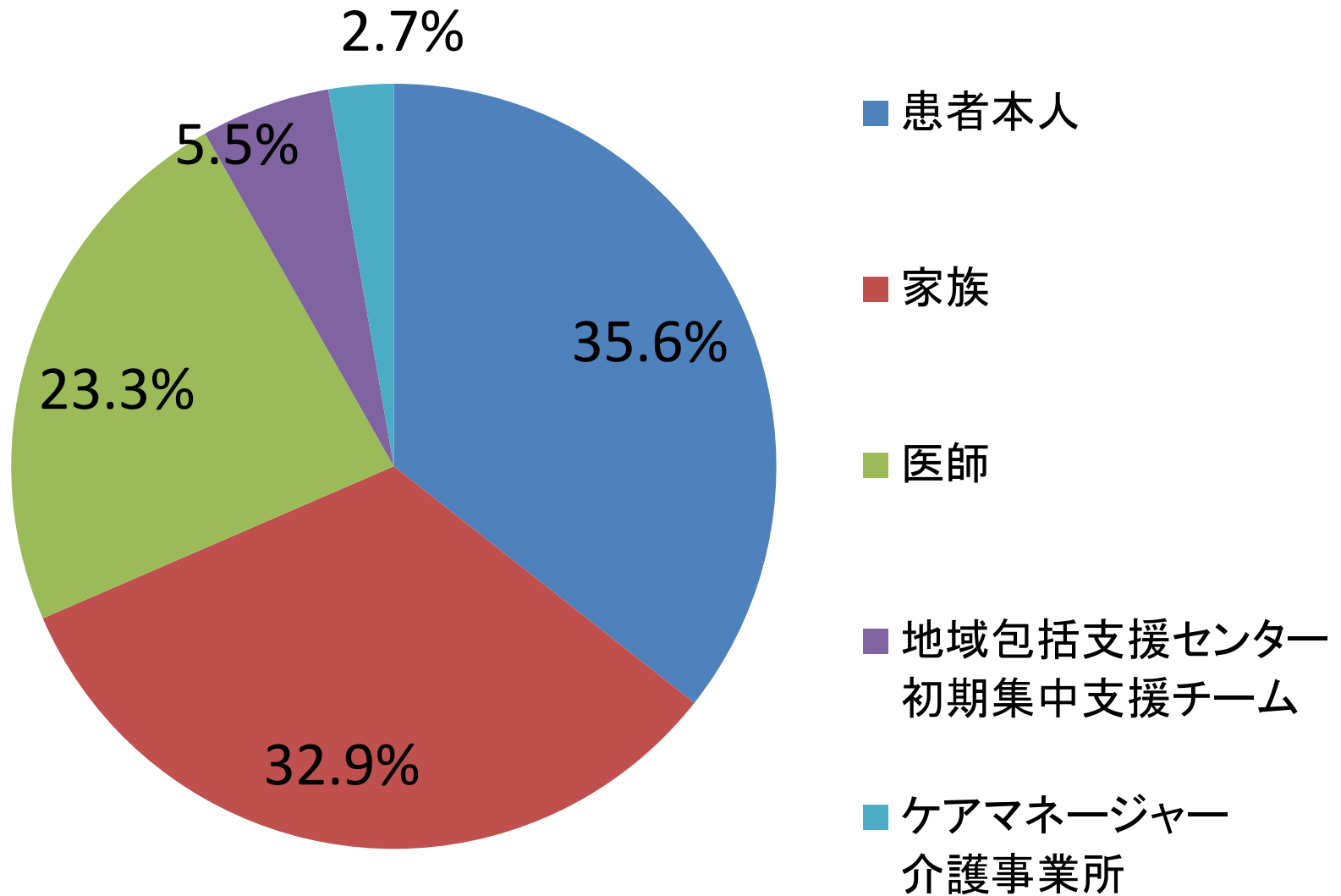
三重県内のモデル地区4市(桑名市、鈴鹿市、津市、伊勢市)で事業を実施します。かかりつけ医からスクリーニングの依頼を受け、認知症連携パス推進員がITスクリーニングによる認知症機能評価を行います。当センターの認知症専門医によるコメントをお返しし、認知症の早期発見・対応の判断資料として活用していただきます。必要に応じて「みえる手帳」を病診連携・医福連携に活用するよう啓発活動を行います。

◇結 果

かかりつけ医療機関に本事業の啓発ポスターを掲示したこともあり、ポスターをみた患者・家族からのスクリーニング希望(68.5%)が多かったです。スクリーニング実施は73名。男女比は男性32.9% 女性67.1%でした。介護保険の要介護度は、未申請78.1%でお元気な方が多く、家族構成は同居家族のいる世帯(80.8%)が多かったです。BPSDがある方12.3%の内容は、妄想、易刺激性、暴言など初期～中期によく見られる症状が多かったです。

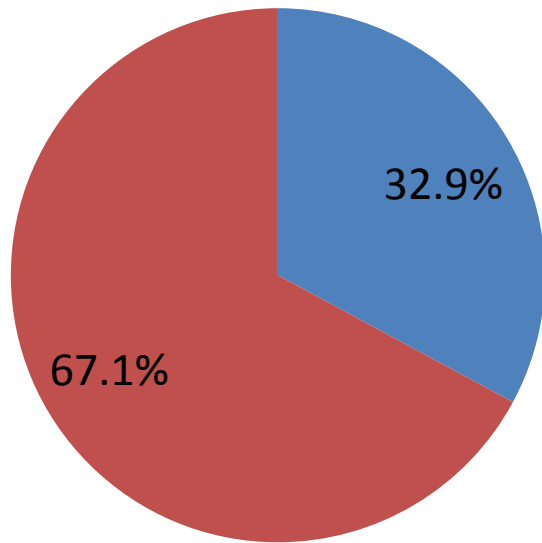
スクリーニング結果は、専門医療機関受診推奨69.9%で、そのうちかかりつけ医から専門医療機関へ紹介されたのは64.7%でした。専門医療機関へ紹介の際に「みえる手帳」を活用されたのは60.6%で半数以上の医師が活用されていました。

スクリーニングの相談経路 (N=73)



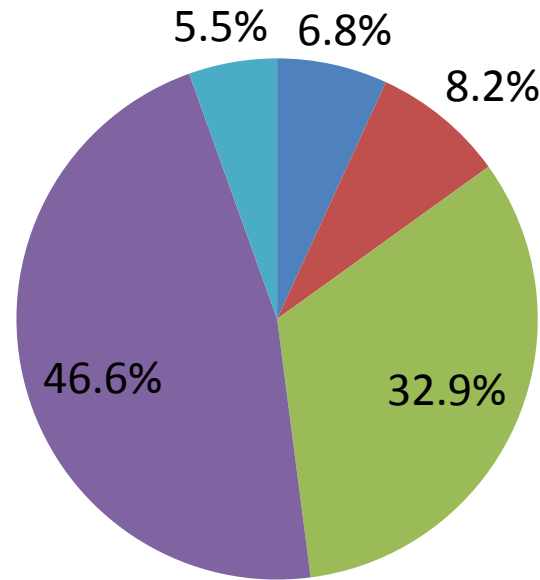
患者の性別と年齢 (N=73)

性別



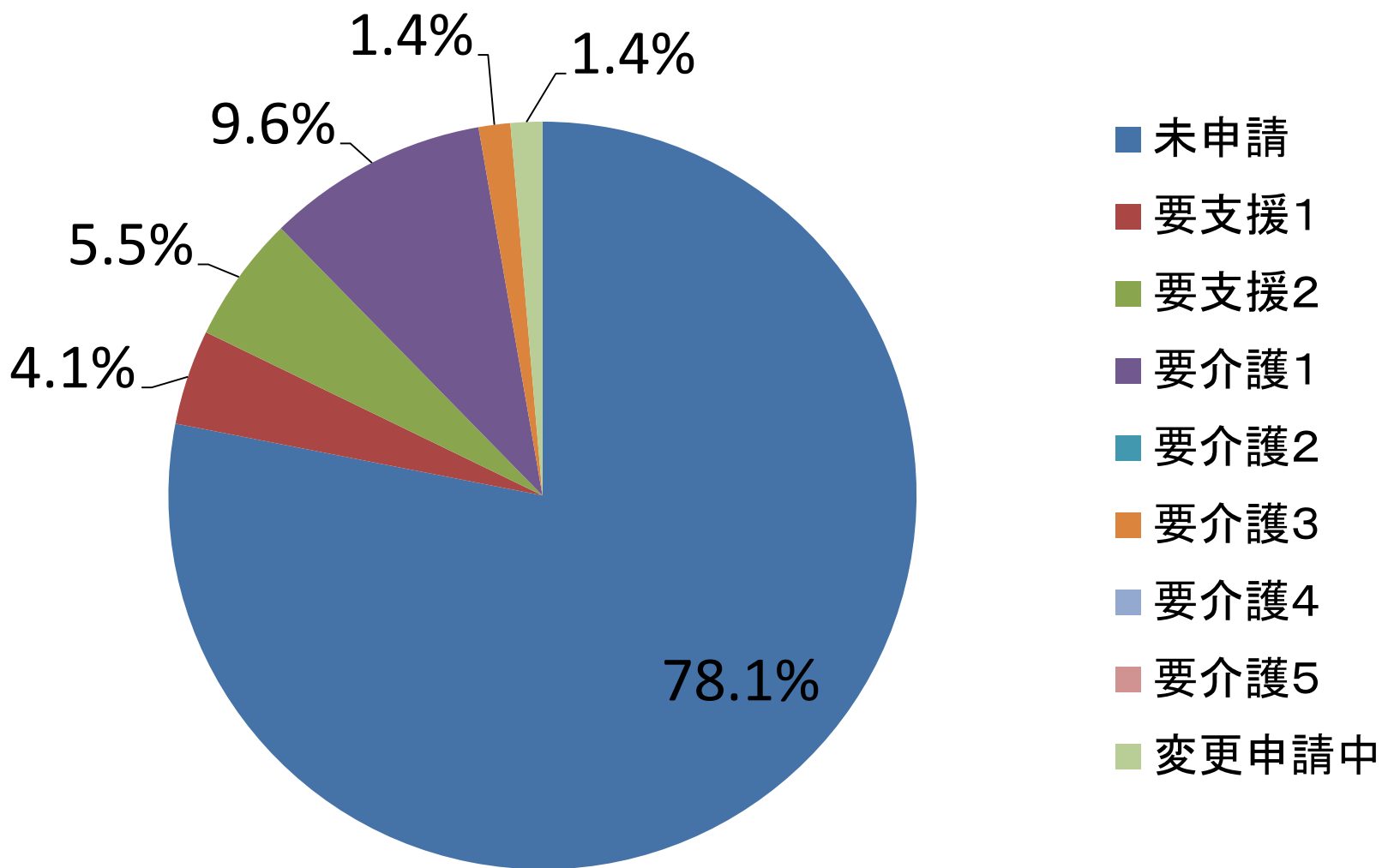
■ 男
■ 女

年齢

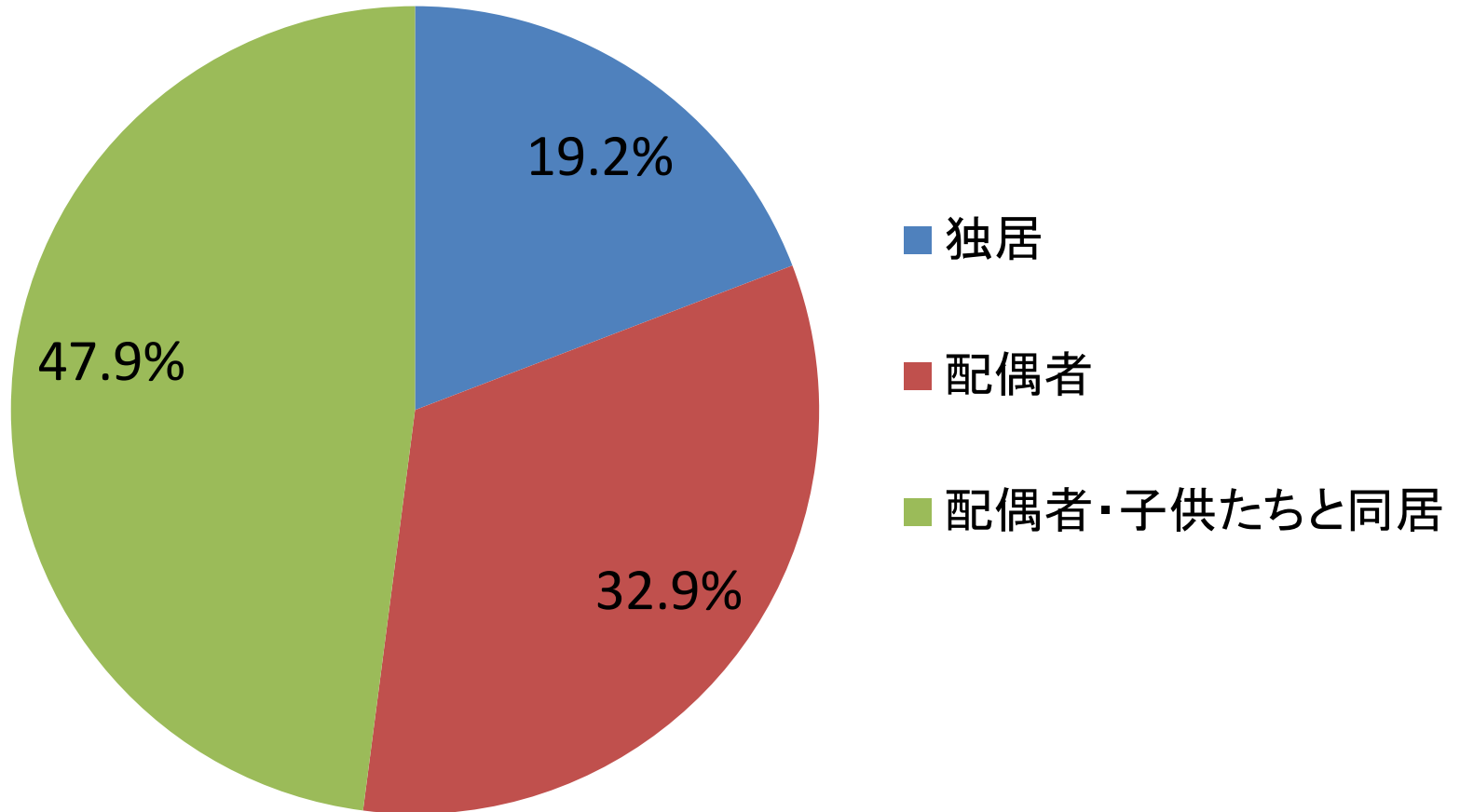


■ 64歳以下
■ 65~69才未満
■ 70歳代
■ 80歳代
■ 90歳以上

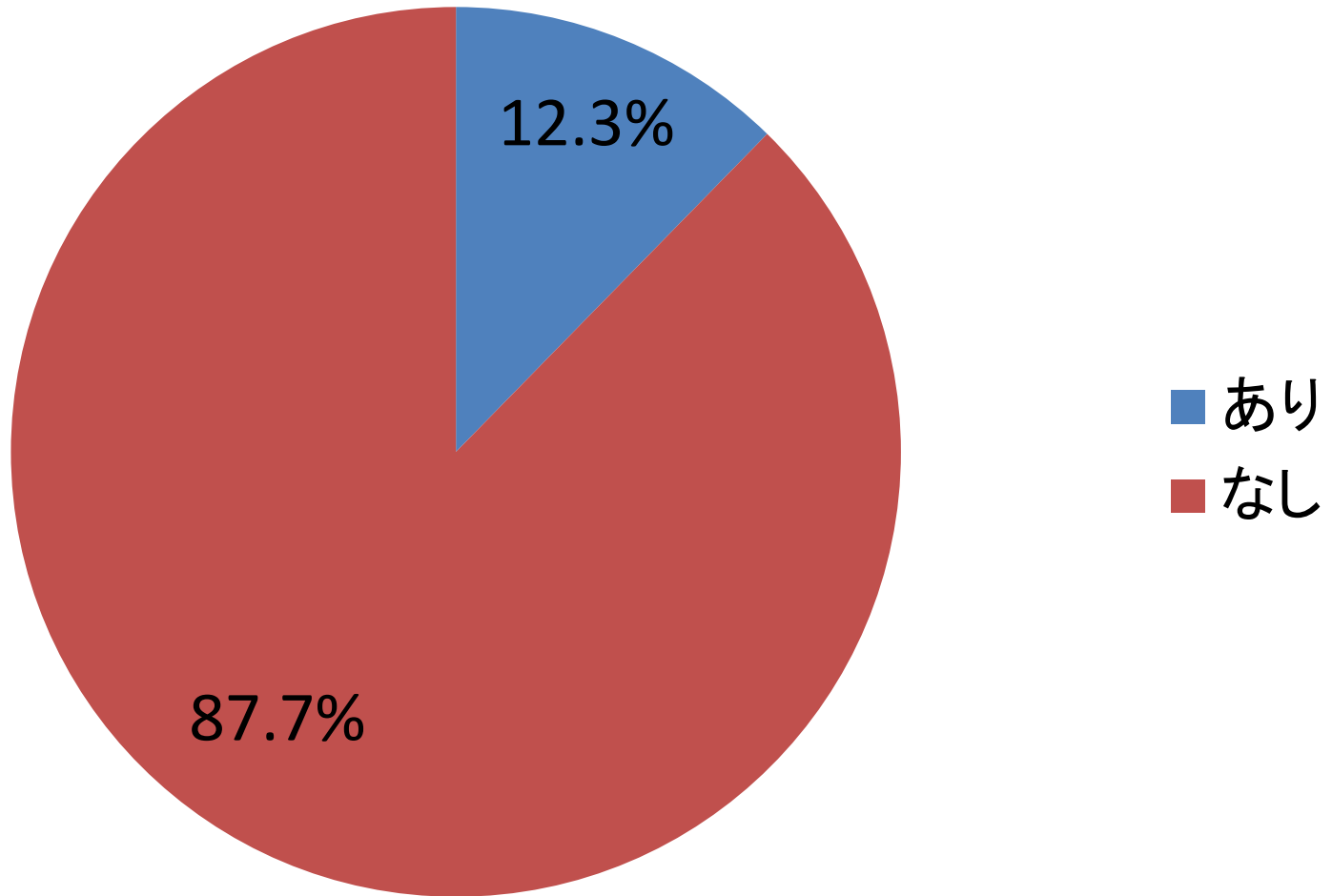
患者の要介護度 (N=73)



家族構成 (N=73)

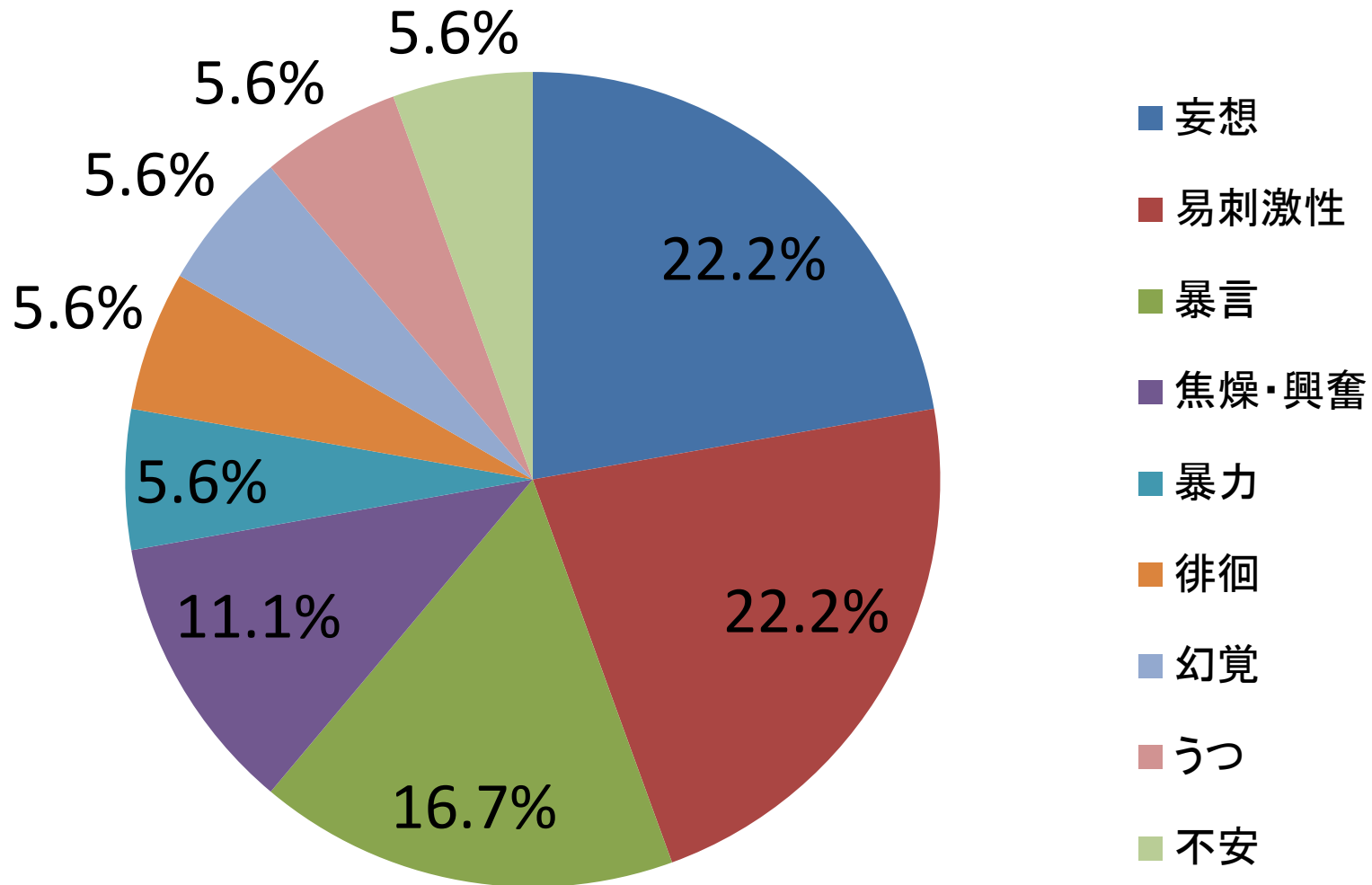


BPSDの有無 (N=73)



BPSDの内容 (N=18)

※複数回答あり

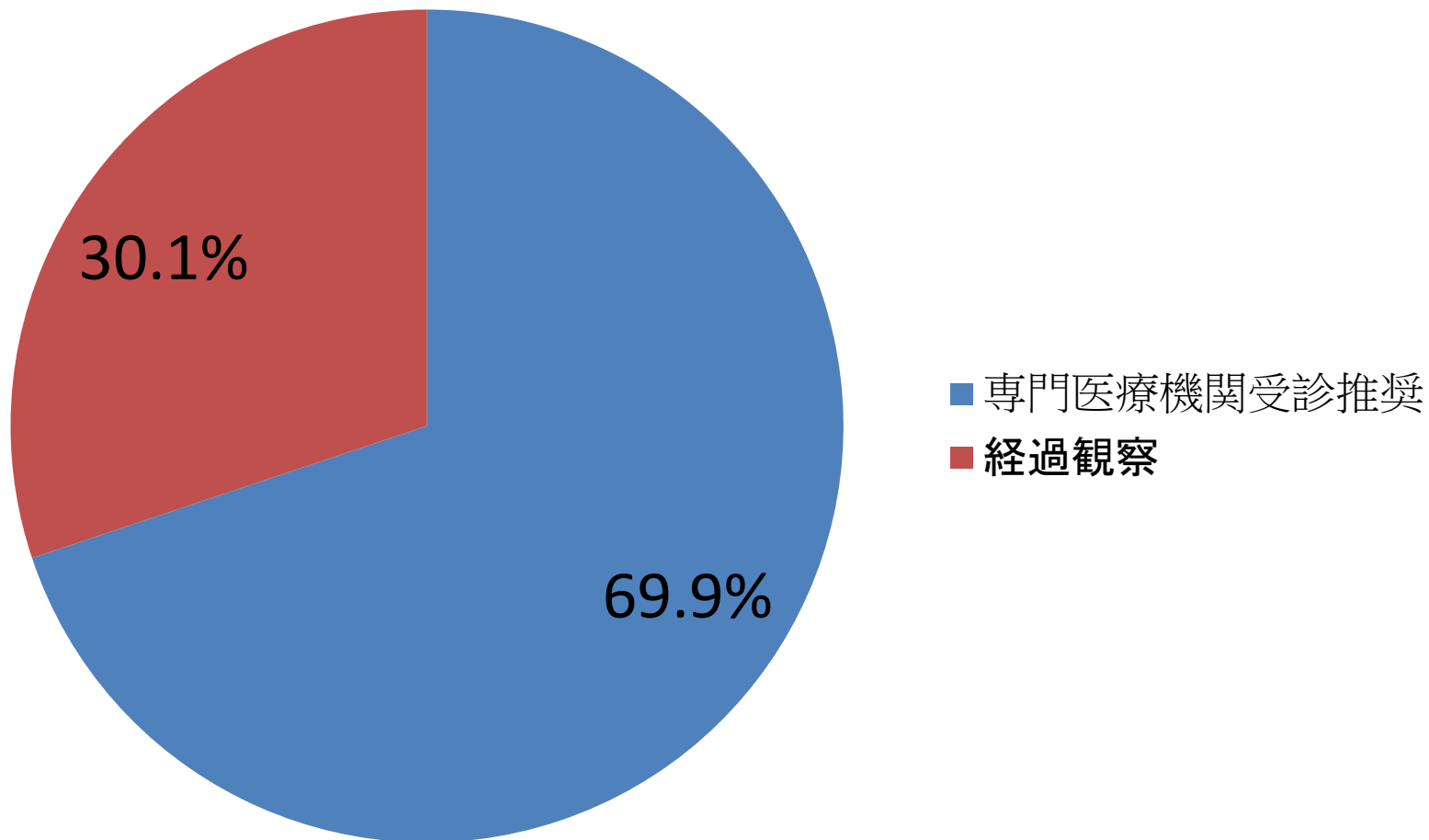


※聞き取りで挙げた内容のみ掲載しています

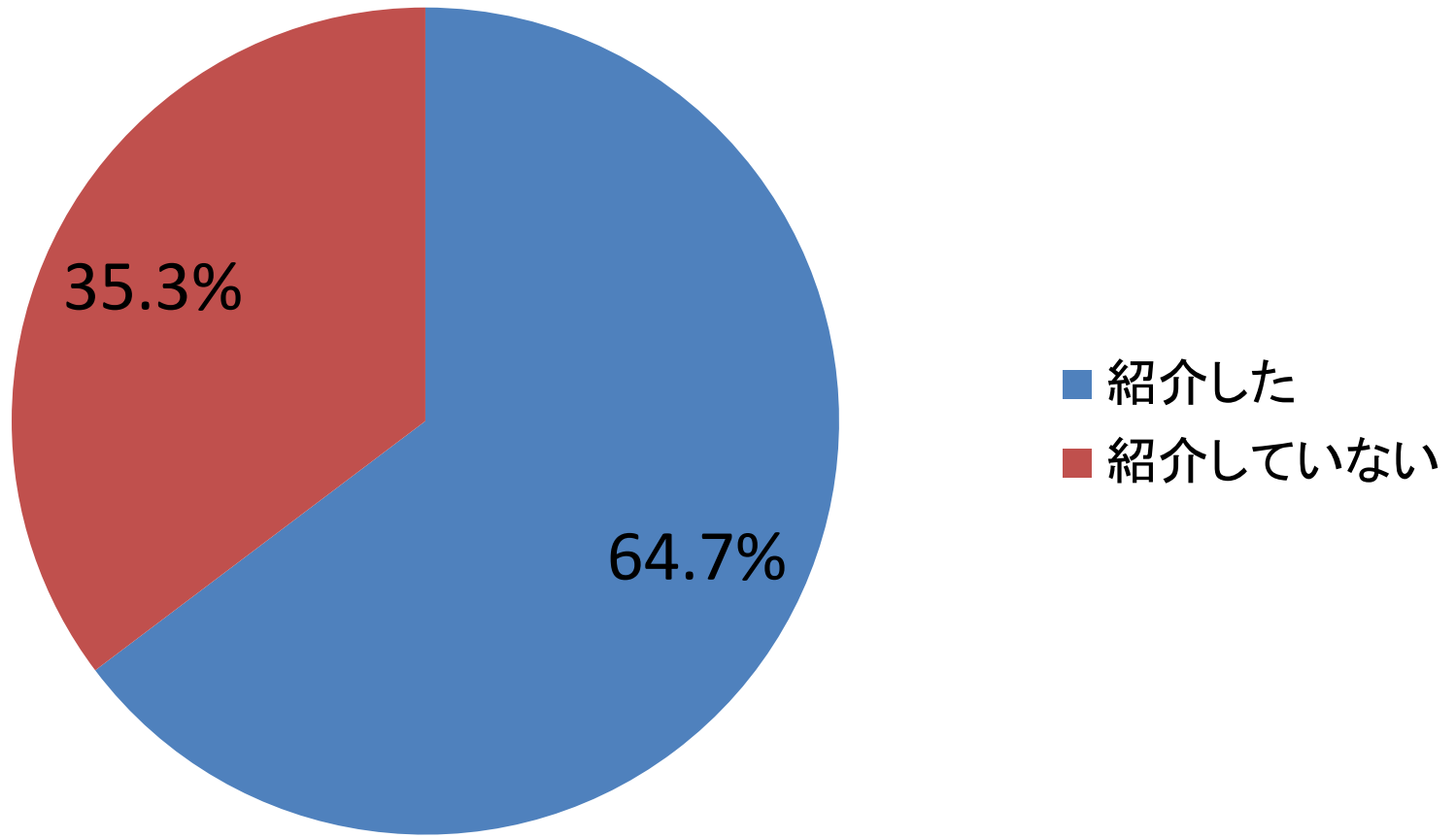
スクリーニング結果 (N=73) 平均得点

	平均	
MMSE	24.1 ± 4.8	
BFB	39.4 ± 9.0	
AOS	36.3 ± 25.5	※欠損1
ADL(%)	92.8 ± 15.6	※欠損1

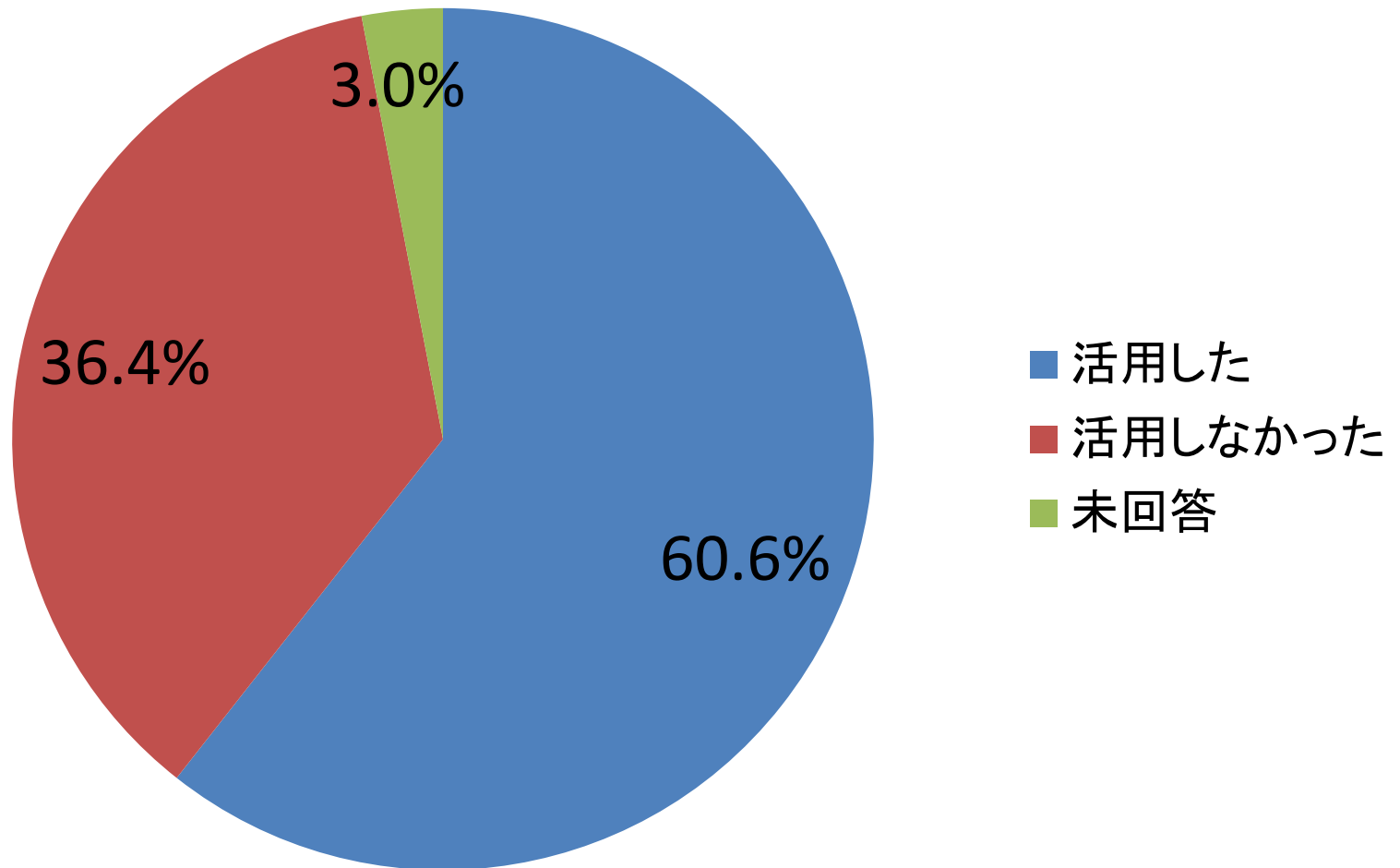
コメント結果 (N=73)



専門医療機関受診推奨群の紹介の有無(N=51)



専門医療機関紹介の際の 「みえる手帳」使用の有無 (N=33)



鑑別診断結果 (N=32)

